

Daily Report (号外)

～11月の米雇用統計について～

結果概要

米国労働省が12月8日に発表した11月の雇用統計は、非農業部門雇用者数が前月比+19.9万人と市場予想(+18.5万人)を上回る結果となりました。

業種別では教育・ヘルスケア業が+9.9万人(前月+8.3万人)と前月から雇用者数の伸びが加速した他、情報業は+1.0万人(同▲1.9万人)、金融業は+0.4万人(同▲0.5万人)と上昇に転じるなど、労働市場の底堅さを示す結果となりました。

失業率は3.7%と市場予想(3.9%)を下回った他、平均時給は前月比+0.4%と市場予想(+0.3%)を上回りました。前年同月比は+4.0%と市場予想(+4.0%)通りとなり、前月分は+4.0%(速報値+4.1%)に下方修正されました。

労働参加率は+62.8%と市場予想(+62.7%)を上回り、前月(+62.7%)からやや上昇しました。

市場反応(米国市場)

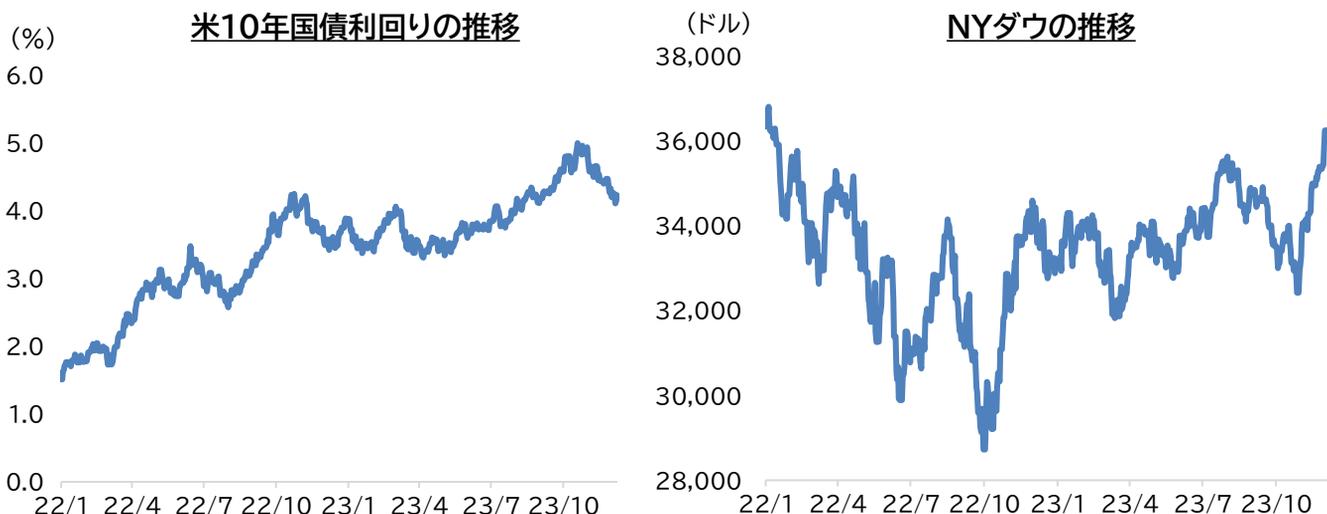
8日の米国株式市場の主要3指数は揃って上昇しました。

市場予想を上回る米雇用統計の結果であったものの、FRBが再度金融引き締めを強化するほどの内容ではないと判断され、ハードランディング懸念が後退したことで主要株価指数は上昇し、NYダウ平均株価は前日比+0.36%、S&P500指数は同+0.41%、ナスダック総合指数は同+0.45%となりました。

米国債券市場は景気の底堅さを示す雇用統計を受け、早期利下げが実施されるとの見方が後退したことで売りが優勢となり、10年債利回りは前日比+0.08%の4.23%程度で取引を終えました。

米ドル/円は強い雇用統計の結果を受け米金利が上昇し、日米金利差が拡大したことで円売り・ドル買いとなり、前日比82銭程度円安ドル高の144.95円/ドルと上昇しました。

原油先物市場は、堅調な雇用統計の結果や中国が財政政策強化の方針を示したことで需要減少懸念が後退し、WTI原油先物1月限は前日比+2.73%の1バレル=71.23ドルと上昇しました。



(期間)2022/1/1～2023/12/8 (出所)Bloomberg

評価・今後の見通し

11月の雇用統計は非農業部門雇用者数が市場予想を上回り、失業率は前月から低下、平均時給は伸びが加速するなど、引き続き雇用の底堅さを示唆する結果となりました。

市場では今回の雇用統計の結果を受け、FRBが追加利上げなどのさらなる金融引き締めを実施する可能性は低いものの、労働市場は依然としてひっ迫していることから利下げの開始時期については後ろ倒しとなる可能性が意識されています。

FRBが利上げを2会合連続で見送ったことや、11月28日にFRB高官であるウォラー理事が講演の中で利下げについて言及したこともあり、市場の関心は利上げの有無から、利下げの開始時期に移りつつあります。

雇用統計の発表前は24年3月FOMCでの利下げ開始予想が半数を占めておりやや優勢となっていました。堅調な雇用統計の結果を受けて利下げ予想は後退し、据え置き予想が50%前後まで上昇しています。

今後の株式市場の見通しとしては、短期的には12月12日発表の米CPIや、12月12日～13日に開催される米連邦公開市場委員会(FOMC)でのパウエル議長の発言に注目が集まるものと考えます。

また、12月FOMCでは四半期に一度のドットチャートの発表があるため、利下げ開始時期を含めたFOMC参加者の将来見通しにも焦点が当たると考えます。

長期的にはFRBはインフレへの対応と米国の景気動向の双方のバランスをとりながら慎重に金融政策を実施していくとみられることから、経済指標の強弱に左右されるボラティリティの高い相場が継続すると見えています。

また、今後インフレが思うように収束せず、政策金利が現状の水準にしばらくの間維持されるリスクや、米景気の急減速によりFRBが早期の利下げに追い込まれるリスクには警戒が必要と考えます。

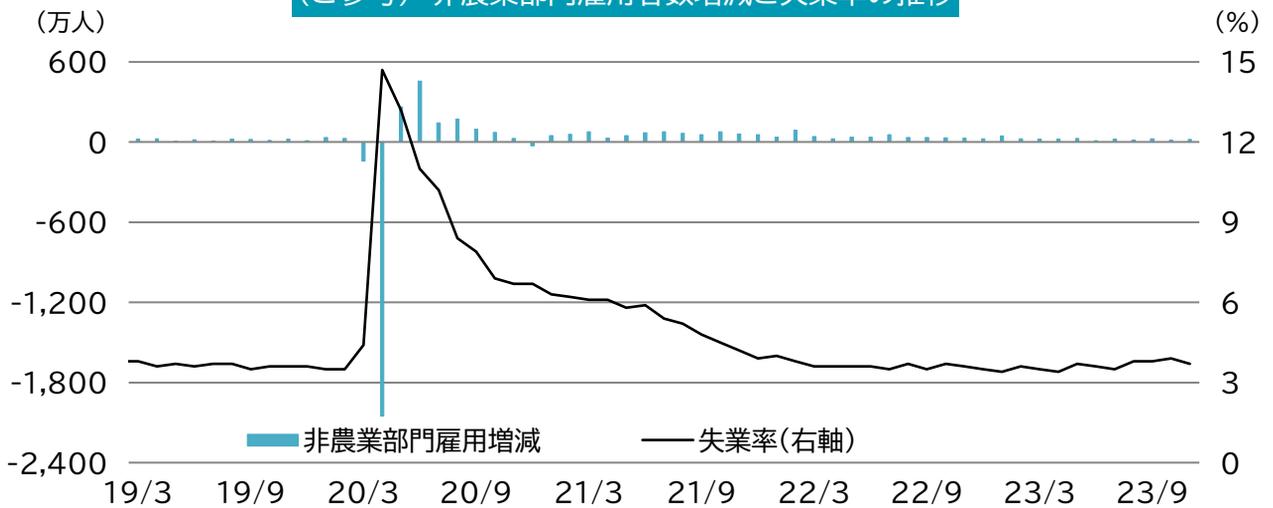
Daily Report(号外)

(ご参考) 主要業種別雇用者数増減(前月比・万人)

出所:米国労働省

| | 23/6 | 23/7 | 23/8 | 23/9 | 23/10 | 23/11 |
|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 非農業部門 | +10.5 | +23.6 | +16.5 | +26.2 | +15.0 | +19.9 |
| 鉱工業部門 | +3.2 | +1.2 | +2.8 | +2.1 | -1.0 | +2.9 |
| 建設業 | +2.9 | +1.2 | +3.0 | +0.9 | +2.5 | +0.2 |
| 製造業 | +0.4 | -0.2 | -0.2 | +1.1 | -3.5 | +2.8 |
| 資源・鉱業 | -0.1 | +0.2 | +0.0 | +0.1 | +0.0 | -0.1 |
| サービス部門 | +5.4 | +13.3 | +8.6 | +17.8 | +9.5 | +12.1 |
| 卸売業 | -0.7 | +1.5 | +0.3 | +1.6 | +1.1 | +0.8 |
| 小売業 | -2.3 | +1.3 | -0.6 | +0.2 | -0.5 | -3.8 |
| 輸送・倉庫業 | -1.9 | -0.7 | -2.7 | +1.2 | -1.2 | -0.5 |
| 情報 | -1.0 | -1.9 | -2.2 | -0.6 | -1.9 | +1.0 |
| 金融 | +0.2 | +1.5 | +0.1 | +0.0 | -0.5 | +0.4 |
| 専門・ビジネスサービス業 | -0.1 | -2.9 | +0.8 | -1.7 | +0.2 | -0.9 |
| 人材派遣業 | -3.6 | -1.7 | -1.0 | -2.2 | +0.0 | -1.4 |
| 教育・ヘルスケア業 | +7.9 | +10.4 | +10.5 | +8.6 | +8.3 | +9.9 |
| 娯楽・宿泊業 | +2.6 | +3.8 | +0.8 | +7.6 | +4.2 | +4.0 |
| その他 | 4.3 | 2.0 | 2.6 | 3.2 | -0.2 | 2.6 |
| 政府部門 | +1.9 | +9.1 | +5.1 | +6.3 | +6.5 | +4.9 |
| 失業率(%) | 3.6 | 3.5 | 3.8 | 3.8 | 3.9 | 3.7 |
| 平均時給(前年同月比、%) | 4.4 | 4.3 | 4.3 | 4.2 | 4.0 | 4.0 |

(ご参考) 非農業部門雇用者数増減と失業率の推移



(期間)2019年3月~2023年11月 (出所)Bloomberg